

応援に駆けつけた家族を交えた記念写真でメダルを掲げる新谷選手



嶋本金 新谷銀



飛田会長らと記念写真に収まる嶋本選手（後列上段）と城内選手（左端）

金沢学院勢

渾身の奮闘

金沢でアジアウエイトリフティング選手権

4月26日から5月1日まで金沢市のいしづか体育館で開催された2008アジアウエイトリフティング選手権に金沢学院関係の5選手が出場しました。このうち、嶋本麻美選手（経営情報学部3年）が女子75kg超級で優勝、男子69kg級で新谷義人選手（法人職員）が2位に入り、橋田麻由選手（経営情報学部）が2位の日本新を記録するなどの奮闘を見せました。北京五輪代表の発表は6月初めで、本学から複数の出場に期待が高まっています。



嶋本麻美選手



新谷義人選手



齋藤里香選手



城内史子選手



橋田麻由選手

城内4位、橋田5位、齋藤6位

スナッチで日本新記録を挙げて勢いに乗る嶋本選手はジャーク3回目の試技でかつて挙げたことがない142kgに挑戦して成功し、長谷場久美コーチの祝福に大粒の涙を流しました。他の選手がトータル250kgを上回ることができず優勝が決まりました。城内史子選手は（東高校職員）はスナッチでは5位にとどまったものの、ジャークで日本記録を更新して銀メダルを獲得し、トータルで4位に入りました。新谷選手はスナッチで12位と出遅れたものの、得意のジャークで2位、トータルでも2位に食い込んで、北京五輪出場へ夢をつなぎました。

怪我に悩まされてきた橋田麻由（経営情報学部4年）、齋藤里香（東高校教員）の両選手はいずれもジャークとトータルで日本記録を更新し、復活を印象づけました。

金沢学院勢の成績（単位kg、新は日本新記録、丸数字は順位）

氏名	階級	スナッチ	ジャーク	トータル
新谷 義人	男子 69kg	130	176	306
嶋本 麻美	女子 75kg ^超	108新	142新	250新
城内 史子	女子 75kg ^超	101	140新	241
橋田 麻由	女子 63kg	91	115新	206新
齋藤 里香	女子 69kg	91	119新	210新

学生ボランティア活躍
金沢学院大学ウエイトリフティング部の部員がボランティアとして大会運営に協力しました。男子は試技台上がってバーベルの重量を変更する係、女子は表彰式の補助や大会役員に飲み物を配る係などを担当し、国際大会の雰囲気を感じ取りました。

文字を大きくしました
発行・広報室